

西アジア考古学関連学術論文・出版物 (2012年1月～12月)

日本の研究者による西アジア考古学関連の出版物について、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』14号編集委員会

- 石渡美江 2012.12 「イラク、セレウキア出土中国鏡」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』38-45頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 井上 豪 2012.12 「キジル第2様式伝図における「女人の供養」の場面について」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』46-55頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 梅津信幸・長谷川修一 2012.7 「考古学における遺構実測図のベクトル化アルゴリズム」『映像情報メディア学会』66(7):207-213頁。
- 大津忠彦・有松 唯 2012.3 「イラン北部、青銅器時代における暗色磨研土器の「出現」過程 —テベ・ホセナバード出土土器に関する一試論—」『オリエン』第54巻2号 43-62頁 日本オリエン学会。
- Ohtsu, T., K. Furuse, H. Nojima, R. Shikaku, Y. Arimatsu, K. Wakiyama, E. Yokoyama and T. Imafuku 2012.8 「2012 Supplementary Report of the Iran-Japan Joint Research Study of the Gorgan Material in the National Museum of Iran, Tehran」『人間文化研究所年報』第23号 71-88頁 筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所。
- 岡田保良 2012.12 「ヘレニズム—ローマ期の石造組積術(2)—城壁・擁壁の組積—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』165-172頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 小高敬寛 2012.3 「いわゆるシリア＝キリキアグループと暗色磨研土器の地域性 —ルージュ盆地の調査成果からみた一考察—」『西アジア考古学』13号 1-17頁。
- 小高敬寛 2012.9 「西アジア先史土器の装飾美 —その源泉・展開・意味—」『うつわとこころ —フォルムとデザイン』6-13頁 岡山市立オリエン美術館。
- 門脇誠二 2012.3 「アフリカの中期・後期石器時代の編年と初期ホモ・サピエンスの文化変化に関する予備的考察」西秋良宏(編)『交替劇：A01班 2011年度研究報告 —考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究2—』7-15頁 東京大学総合研究博物館。
- Kadowaki, S. 2012 A Household Perspective towards the Pre-Pottery Neolithic to Late Neolithic Cultural Transformation in the Southern Levant. *Orient* 47: 3-28.
- 門脇誠二・久米正吾・下釜和也・西秋良宏 2012.3 「ユーフラテス河中流域の先史時代—第5次調査(2011)」『第19回西アジア発掘調査報告会報告集』16-21頁 日本西アジア考古学会。
- 禿 仁志・千本真生・柴田 徹・宮原俊一 2012.3 「ブルガリア・前期青銅器時代開始期の集落 —テル・デアドヴォ遺跡 2010年・2011年調査—」『考古学が語る古代オリエン』第19回西アジア発掘調査報告会報告集』66-71頁 日本西アジア考古学会。
- Kamuro, H. 2012.3 Dyadovo Excavation 2011 -Initial Report-. *Dyadovo Initial Report Series 6 (DIRS 6)*, Hiratsuka: Tokai University Thracian Expedition.
- 河合 望 2012.3 「トゥトアンクアメン王の治世における政治体制と高官について」『オリエン』第54巻2号 152頁。
- 河合 望 2012.3 「王家の谷・西谷、アメンヘテプ3世王墓出土の副葬品について」『オリエン』第54巻2号 182-183頁。
- 河合 望 2012.5 「古代オリエン1」『史学雑誌 回顧と展望 2011年の歴史学界 —回顧と展望—』121編5号 286-290頁。
- 河合 望 2012.7 「ツタンカーメン 少年王の謎」集英社。
- 河合 望 2012.11 「トゥトアンク(ウ)アテンからトゥトアンクアメンへ」『日本オリエン学会第54回大会公開講演・研究発表要旨集』13頁 日本オリエン学会。
- Kawai, N. 2012.1 The Tomb of Isisnofret at Northwest Saqqara. In M. Bárta, P. Coppens, J. Krejci (eds.), *Abusir and Saqqara in the Year 2010*. pp.497-511. Czech Institute of Egyptology, Charles University, Prague.
- Kawai, N. 2012.7 Waseda University Excavations at Northwest Saqqara. *Friends of Saqqara Foundation Newsletter*, vol.10, pp. 39-46.
- Kawai, N. 2012.11 "Khaemwaset," "Egypt, Upper," "Thebes, East," In R.S. Bagnall, K. Brodersen, C.B. Champion, A. Erskine and S. R. Huebner (eds.), *The Encyclopedia of Ancient History*, Wiley-Blackwell.
- Kawai, N., K. Takahashi and K. Yazawa 2012.7 Middle Kingdom Pottery from the Waseda University Excavations at North-West Saqqara 2001-2003. In R. Schiestl, A. Seiler (eds.), *Handbook of Pottery of the Egyptian Middle Kingdom, Volume II: The Regional Volume*, pp.147-160. Wien.
- 久米正吾 2012.6 「青銅器時代ユーフラテス河中流域における追葬と死者儀礼」『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』67-68頁 日本西アジア考古学会。
- Kume, S. and A. Sultan 2012.4 Burials and Nomad-Sedentary Relations on the Syrian Middle Euphrates during the Third Millennium BC. In P. Bieliński et al (eds.) *Abstracts of 8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. P.152. Warsaw, University of Warsaw.
- 久米正吾・宮田佳樹・門脇誠二 2012.11 「古代メソポタミアの葬宴に関する実証的研究」『研究報告書 —平成24年度(第49号)—』150-157頁 三島海雲記念財団。
- クラスイミル・レシュタコフ(著)・千本真生(訳) 2012.3 「上トラキア平野の青銅器時代(3)」『東海史学』46号 63-70頁。
- ケノイヤー J. M. (著)・小磯 学(翻訳監修) 2012.12 「商人が築いたインダスの古代都市」別冊日経サイエンス『都市の力 古代から未来へ』116-125頁 日経サイエンス編集部。
- Гергова, Д., Камуро, Х., Кънчева-Русева, Т., Генов, Д., Кънчев, К., Дерменджиев, Н., Господинов, Н., Катевски, И., Мияхара, Ш., Шибата, Т., Семмото, М., Тао, М. 2012 Проучвания на Селищната Могила Дядово 2011 г. *Археологически Открития и Разкопки през 2011 г.* pp. 116-118. София: Българска Академия на Науките Национален Археологически Институт с Музей.
- 小泉龍人 2012.1 「歴史と伝統の織りなす憩いの空間」『週刊 世界の博物館 24：ダマスカス国立博物館』32頁 朝日新聞社。
- 小泉龍人 2012.6 「メソポタミア都市形成期の彩文土器 —ウバイド

- 土器の理化学的分析と焼成実験—『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』41-44頁 日本西アジア考古学会。
- 小磯 学・遠藤 仁 2012.5「赤い石がつくる道 —カーネリアン・ロードをたどって—」『季刊民族学』第36巻2号(通巻140号) 37-84頁 財団法人千里文化財団。
- 小谷仲男 2012.12「ブッダと裸形外道パーティカ —新出のガンダーラ彫刻—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』56-61頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 小茄子川歩 2012.3「レプリカ・セム法によるインダス式印章の観察—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介—」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』第26巻1-23頁。
- 小茄子川歩 2012.3「インダス式印章の「発明」」『オリエント』第54巻2号 156-157頁 日本オリエント学会。
- 小茄子川歩 2012.3「インド考古学通信(10)」『古代文化』63巻4号。
- 小茄子川歩 2012.6「インド考古学通信(11)」『古代文化』64巻1号。
- 小茄子川歩 2012.7「書評:近藤英夫 2010『インダスの考古学』世界の考古学18 同成社 193頁(図版・写真含む)(ISBN978-4-88621-541-3)(本体2,000円+税)」『インド考古研究』33号 68-73頁 インド考古研究会。
- 小茄子川歩 2012.9「先インダス文明期における印章の基礎的研究:クナール遺跡出土資料の検討を中心として」『オリエント』第55巻1号 22-35頁。
- 小茄子川歩 2012.9「インド考古学通信(12)」『古代文化』64巻2号。
- 小茄子川歩 2012.11「インダス文明成立期における印章の製作技術とその変遷に関する考古学的研究」『公益財団法人三島海雲記念財団研究報告書』49号 131-136頁。三島海雲記念財団。
- 小茄子川歩 2012.11「先インダス文明期とインダス文明期における凍石製印章の製作技術とその変遷に関する考古学的研究」『日本オリエント学会第54回公開講演・研究発表要旨集』52頁 日本オリエント学会。
- 小茄子川歩 2012.12「インド考古学通信(13)」『古代文化』64巻3号。
- Konarusgawa, K., H. Shudai, H. Endo and S. Kimura 2012.3 Report on the Survey of the Archaeological Materials of Prehistoric Pakistan Stored in the Aichi Prefectural Ceramic Museum. Part 4: Togau Ware, Kechi-Beg Ware and Other Prehistoric Balochistan Potteries. *The Bulletin of Tsurumi University: Studies in Humanities, Social and Natural Sciences* 49(4): 141-158.
- 小茄子川歩・中山誠二 2012.6「レプリカ・セム法によるインダス式印章の観察」『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』25-28頁 日本西アジア考古学会。
- 小山 満・川崎建三 2012.12「ダルヴェルジン・テパ仏教寺院址」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』62-70頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 紺谷亮一・須藤寛史・山口雄治・早川裕式・F.クラックオウル・K.エムレ・S.エゼル・G.オズトルク 2012.3「トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト(KAYAP)第4次調査(2011年)概報」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』第26巻 41-62頁。
- 齋藤正憲 2012『土器づくりからみた3つのアジア:エジプト・台湾・バングラデシュ』創成社。
- 齋藤正憲 2012「天井のある窯、天井のない窯:エジプト民族誌にみる窯構造と黒色土器焼成」『西アジア考古学』13号 63-71頁。
- 坂本和子 2012.5『織物に見るシルクロードの文化交流—トルファン出土染織資料—錦綾を中心に』同時代社。
- 佐々木花江・佐々木達夫 2012.12「オマーン湾岸の港町ディバのマドバッサ」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』143-153頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 真道洋子 2012.12「天理参考館所蔵ピンサー装飾樹木杯をめぐって—ピンサー装飾ガラスの文様—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』15-22頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 須藤寛史 2012.3「オリエント美術館所蔵西アジア印章のSEM観察」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』第26巻 25-40頁。
- 須藤寛史(編) 2012.11『銘文に秘められたオリエントの世界』(展覧会図録)岡山市立オリエント美術館友の会。
- 千本真生 2012.6「ブルガリア共和国 カラノヴォ遺跡」『考古学研究』第59巻1号(通巻233号) 116-118頁。
- 千本真生 2012.11「前期青銅器時代ブルガリアの縄目土器に関する一考察—デャドヴォ遺跡の事例を中心に—」『日本オリエント学会第54回大会公開講演・研究発表要旨集』51頁 日本オリエント学会。
- 千本真生・金成太郎・柴田 徹・禿 仁志・S. Djambazov・A. Yoleva・O. Malinov 2012.6「ブルガリア・デャドヴォ遺跡における土器胎土・カマド構築材料の基礎的研究—考古学・岩石学・分析化学の視点から—」『日本文化財科学会第29回大会研究発表要旨集』260-261頁 日本文化財科学会。
- 創価大学シルクロード研究センター編 2013.3『ダルヴェルジンテパ仏教寺院址』ウズベキスタン共和国科学アカデミー芸術学研究所/創価大学シルクロード研究センター。
- 田澤恵子 2012.3 Three Figurines with a Raised Arm in Ancient Orient Museum『古代オリエント博物館研究紀要』第31号 107-122頁。
- 田澤恵子 2012.3 'Decoration'. In H. Kamei and T. Nakano (eds.), *El-Zayyan Kharga Oasis 2007-2010*, Tokyo Institute of Technology, pp. 97-133.
- 田澤恵子 2012.3「イシュタル・アスタルテ・アフロディテに関する国際会議」(学界動向)『オリエント』第54巻2号 111-118頁。
- 田澤恵子 2012.11(古代オリエント博物館所蔵のエジプト資料に関する銘文解説と解説)須藤寛史(編)『銘文に秘められたオリエントの世界』(展覧会図録)岡山市立オリエント美術館友の会。
- 巽 善信 2012.12「天理参考館所蔵の伝洛陽唐墓出土西方ガラスについて—蛍光X線分析の結果から—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』10-14頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Tadmor H. and S. Yamada 2011. 11 *The Royal Inscriptions of Tiglath-pileser III (744-727 BC) and Shalmaneser V (726-722 BC), King of Assyria. The Royal Inscriptions of the Neo-Assyrian Period, Vol. 1*. Winona Lake: Eisenbrauns.
- 谷一 尚 2012.3「ガラスの東西」『民族藝術』第28巻 8-24頁。
- Tsukimoto, A. and T. Yamayoshi 2012.3 Idumean Ostraca in Japan. *Annual of the Japanese Biblical Institute XXXVII* (2011): 81-104.
- Tsukimoto A. 2012.4 A Note on YBC 11056, 9 and CBS 1462a. *Nouvelles Assyriologiques Brèves et Utilitaires* 2012/1: 19.
- Tsukimoto A. 2012.11 Ein Neuester Text im Hana-Stil in mittellassyrischer Schrift. *Revue d'Assyriologie et d'Archéologie Orientale* 105: 85-94.
- 辻 成史 2012.12「ゲミレル島における Hodology」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』108-124頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 常木 晃・大沼克彦・久田健一郎・古里節夫・中村真衣 2012.3「南イランにホモ・サピエンスの足跡を探る—アルサンジャン・プロジェクト2011—」『考古学が語る古代オリエント 第19回西アジア発掘調査報告会報告集』8-15頁 日本西アジア考古学。
- Tsuneki, A. 2012.3 Tell el-Kerkh as a Neolithic Mega Site. *Orient* 47: 29-65.
- Tsuneki, A. 2012.5 The Meaning of Neolithic Stamp Seals. *Abstracts of 8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. P.79. Warsaw, University of Warsaw.
- Tsuneki, A. 2012.11 Tappeh Sang-i Caxmaq and the Origin of the Jeitun

- Culture. *Workshop on the Archaeology of Neolithic and Early Chalcolithic / Aeneolithic Central Iran and Turan, Abstract*: pp.39-48. Free University of Berlin, Berlin.
- Tsuneki, A. 2012.11 The Arsanjan Prehistoric Project and the Significance of Southern Iran in Human history. In H. Fahimi and K. Alizadeh (eds.) *Nāmvarnāmeḥ, Papers in Honour of Massoud Azarnoush*, pp.19-30. Iran Nagar Publication, Tehran.
- Tsuneki, A. and S. Hourshid 2012.12 Archaeological Excavations at Seyed Khatoon Cave (A5-3), Arsanjan Township, Fars Province. Exhibition of the Newly Discovered Archaeological Finds, 2008-2011, pp.2-4, 35. Tehran National Museum, Research Center of Iranian Cultural Heritage, Handicrafts and Tourism Organization, Iranian Center for Archaeological Research, Tehran.
- Tsunki A. and A. Mirzaye 2012.2 *The Arsanjan Project, 2011*, Research Center of the Iranian Cultural Heritage, Handicrafts and Tourism Organization and University of Tsukuba. Tsukuba.
- Tsuneki, A., A. Mirzaei and S. Hourshid 2012.12 The Arsanjan Project 2011-2012. Abstracts of the 11th Annual Symposium of Iranian Archaeology, pp.33-34. Tehran, National Museum, Research Center of Iranian Cultural Heritage, Handicrafts and Tourism Organization, Iranian Center for Archaeological Research, Tehran.
- Tuba Ökse A., A. Görmüş, T. Koizumi, D. Yaşın Meier and N. Soyukaya 2012.5 Ihsu Barajı-Salat Tepe 2011 Kazısı. *34th International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry*. Republic of Turkey, Ministry of Culture and Tourism, General Directorate for Cultural Heritage and Museums, Hitit University in Çorum.
- 中田一郎 2012.2 「あなたの知らないハンムラビ法典」『ORIENTE』44号 17-22頁。
- 中田一郎 2012.8 「文字はこうして生まれた —シュマント=ベッセラのトークン理論—」『ORIENTE』45号 15-20頁。
- 中村友代 2012.12 「紀元前4世紀の戦闘図像比較 —《アレクサンドロス石棺》を中心に—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』33-37頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 西秋良宏・ファルハドキリエフ・門脇誠二・下釜和也・小高敬寛・有松唯・赤司千恵 2012.3 「南コーカサス地方の新石器時代 —ギョイテベ遺跡の第4次発掘調査—」『考古学が語る古代オリエント 第19回西アジア発掘調査報告会報告集』72-78頁 日本西アジア考古学会。
- Nishiaki, Y., A. Sultan, S. Kadowaki, S. Kume and K. Shimogama 2012.3 Archaeological Survey around Tell Ghanem al-'Ali (V). *Al-Rāfdān* 33: 1-6.
- 長谷川修一 2012.3 「西アジア考古学における発掘報告書出版の重要性」『西アジア考古学』第13号 81-86頁。
- Hasegawa, S. 2012.3 Samson and Mill (Judg 16,21). *Biblische Notizen* 152 (2012): 29-34.
- Hasegawa, S. 2012.4 The Historiographical Background for Jehu's Claim as the Murderer of Joram and Ahaziah. *Annual of the Japanese Biblical Institute* 37 (2011): 5-17.
- Hasegawa, S. 2012.7 Olynthus Millstones in the Southern Levant: The Backdrop to the Maritime Trade of Olynthus Millstones. *Palestine Exploration Quarterly* 144: 102-114.
- Hasegawa, S. 2012.10 Looking for Aphek in 1 Kgs 20. *Vetus Testamentum* 62 (2010): 501-514.
- Hasegawa, S. 2012.6 Aram and Israel during the Jehuite Dynasty. *Beihefte zur Zeitschrift für die alttestamentliche Wissenschaft* 434, de Gruyter, Berlin/Boston, MA.
- 長谷川奏・恵多谷雅弘・春山成子 2012.12 「エジプト西方デルタ調査 —2010～11年度の調査概要と成果—」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』132-142頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 濱崎一志・西藤清秀・石川慎治 2012.12 「パルミラ遺跡北墓地 129-b号墓の建築学的研究 2012」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』95-107頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 原田 怜・後藤 健・西藤清秀・安倍雅史 2012.6 「パハレーン国における文化遺産保状況と今後の国際協力の可能性」『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』83-87頁 日本西アジア考古学会。
- 原田 怜・後藤 健・西藤清秀・安倍雅史 2012.11 「パハレーン王国に対する文化遺産国際協力調査について」『日本オリエント学会第54回大会公開講演・研究発表要旨集』65頁 日本オリエント学会。
- 原田 怜・後藤 健・西藤清秀・安倍雅史 2012.12 『平成23年度協力相手国調査 パハレーン王国調査報告書』文化遺産国際協力コンソーシアム。
- 春田晴郎 2012.12 「MIHO MUSEUM 所蔵 鶏を銜える山猫形リュートの銘文」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』86-94頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 平田昌弘 2012 「乳文化の起源は西アジアにあり」『デーリイマン』62 (11) 27頁。
- 平田昌弘 2012 「ユーラシア大陸における乳文化の一元二極化論」『MilkScience』61 (3) 205-215頁。
- 深見奈緒子 2012.12 「10世紀、アンダルシアのアーチネットの建築史的考察」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』154-164頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 藤井純夫 2012.3 「ヒツジ遊牧の起源：ヨルダン南部ジャフル盆地の調査から」東京文化財研究所文化遺産国際協力センター編『西アジアの文化遺産 —その保護の現状と課題— (アジア文化遺産国際会議報告書)』31-35頁。
- 藤井純夫 2012.6 「ワディ・ナーディア1号遺跡のダム・システム —ヨルダン新石器時代移牧民の水利事業—」『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』13-16頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S. 2012.5 Chronology of the Bishri Pastoral Prehistory and Protohistory: Current Scheme and Future Perspective. *Abstracts of 8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. Warsaw: Warsaw University.
- Fujii, S. 2012.5 PPNB Barrage Systems in the Jafr Basin, Southern Jordan: New Evidence for Water Exploitation Strategy of Initial Pastoral Transhumants. *Abstracts of 8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. Warsaw: Warsaw University.
- Fujii, S. 2012. 10. Neolithic Barrage Systems in the Jafr Basin. In D. R. Keller, A. P. Barbara and C. Tuttle (eds.), *Archaeology in Jordan, 2010 and 2011 Seasons*. *American Journal of Archaeology* 116/4: 726-727.
- Fujii, S. 2012. 11. Flint Bowlets: Three Additional Materials from Wadi Ghwayr 17 and Wadi Nadiya 2, al-Jafr Basin. *Neo-Lithics* 1/12: 33-40.
- 藤井純夫・足立拓朗・遠藤仁・山藤正敏・有松唯・長屋憲慶 2012.3 「ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化過程ワディ・ナーディア1号遺跡、アウジャ1-3号遺跡の発掘調査 (2011年夏)」『考古学が語る古代オリエント —第19回西アジア発掘調査報告会報告集』22-27頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫・足立拓朗・山藤正敏 2012.3 「シリア、ピシユリ山系の遊牧化過程ファカット・ピデアウ1, 2号遺跡の発掘調査 (2011年春)」『考古学が語る古代オリエント —第19回西アジア発掘調査報告会報告集』28-33頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S., T. Adachi, L. A. Quintero and P. J. Wilke 2012.11 Wadi Ghwayr

- 106: A Neolithic Barrage System in the Northeastern al-Jafr Basin. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 55: 189-212.
- Fujii, S., L. A. Quintero and P.J. Wilke 2012.11 Wadi Ghuweir 17: A Neolithic Outpost in the Northeastern al-Jafr Basin. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 55: 159-188.
- 堀岡晴美 2012.3 「MAR.TU 敵視の背景: Tid(a)num と Yamatum の対立」『シンポジウム ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民 発表要旨集』12頁 国士舘大学。
- 堀岡晴美 2012.12 「初期王朝期マリにおけるイナンナ/イシュタル女神を祀る神殿」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』71-85頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 堀岡晴美 2012.11 『ウル第3王朝期における「西方のMAR.TU」と「東方のMAR.TU」』『日本オリエント学会第54回大会発表要旨集』日本オリエント学会。
- 松尾登史子 2012.12 「古代マケドニア王都ペラの墓所」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』23-32頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 三宅 裕 2012.2 「乳の流れる地「西アジア」—乳利用と乳製品の起源を探る—」『ORIENTE』44号 5-10頁。
- Miyake, Y. 2011.12 Salat Cami Yanı: A Pottery Neolithic Site in the Tigris Valley. In M. Özdoğan, N. Başgelen and P. Kuniholm (eds.), *The Neolithic in Turkey: New Excavations and New Research: Tigris Valley*, 129-149. Archaeology and Art Publications, Istanbul.
- 三宅 裕・前田 修・アブドゥセラーム・ウルチャム 2012.3 「初期定住集落の姿を探る: トルコ、ハッサンケイフ・ホユック 2011年度の調査」『考古学が語る古代オリエント 第19回西アジア発掘調査報告会報告集』34-39頁 日本西アジア考古学会。
- Miyake, Y., O. Maeda, K. Tanno, H. Hongo and C. Y. Gündem 2012.10 New Excavations at Hasankeyf Höyük: A 10th Millennium Cal. BC Site on the Upper Tigris, Southeast Anatolia. *Neo-Lithics* 2/12: 3-7.
- 宮下佐江子 2012.12 「パルミラ美術にみられる神々」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』125-131頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 山花京子 2012.10 「天理参考館所蔵の古代エジプトのファイアンズ製品について—分析結果とその歴史的解釈—」『天理参考館紀要』第25巻 95-111頁。
- 山花京子 2012.6 「インダス文明期のファイアンズ—ガッガル平原出土資料の分析—」『日本西アジア考古学会第17回総会・大会要旨集』37-40頁 日本西アジア考古学会。
- 山藤正敏 2012.9 「前期青銅器時代パレスティナ地域における土器製作技術の変遷—生産関連遺構・遺物と調整痕から—」『史観』第167冊 100-123頁 早稲田大学史学会。
- 山田重郎 2012.3 「メソポタミアの歴史文書と旧約聖書の歴史書」『近代精神と古典解釈—伝統の崩壊と再構築』144-162頁 国際高等研究所。
- Yamada, S. 2012 The City of Tabatum and Its Surroundings: the Organization of Power in the Post-Hammurabi Period. In G. Wilhelm (ed.), *Organisation, Representation and Symbols of Power in the Ancient Near East*, pp.589-600, Winona Lake: Eisenbrauns.
- 吉武隆一 2012.12 「ヨルダンの初期ペンデンティブ」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』173-188頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 吉村作治・河合 望・近藤二郎・柏木裕之・高橋寿光 2012.11 「エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡第21次・第22次調査(2011～2012年)概報」『日本オリエント学会第54回大会公開講演・研究発表要旨集』61頁 日本オリエント学会。
- ラブチェフ・セルゲイ・松崎真弓・白瀧純子・中井 泉 2012.12 「カンボジアの古代ガラスと天然石コレクションの化学組成分析」『第19回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』1-9頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Le Mière, M. and S. Kume 2012.4 Early Mastery of Fire: the Near Eastern Neolithic Lime, Gypsum Plaster and Pottery Revisited. In P. Bieleński et al (eds.) *Abstracts of 8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. P.86. Warsaw, University of Warsaw.